

VI. その他の事業

1. 広報活動の状況
2. 障害者雇用への協力
3. 特別支援教育への協力
4. 保健センターとの連携

1. 広報活動の状況

総合福祉センターの事業内容をひろく区民に周知するため各種の広報活動に努めるとともに、事業の成果を刊行物としてまとめ区および関係機関に配布している。

(1) パンフレット類

- ① 児童担当「相談と療育のご案内」
- ② 児童担当「子育てサポートブック」
- ③ 成人担当の相談と訓練のご案内
- ④ 「成人きこえの相談のしおり（聞こえにくくてお困りの方へ）」
- ⑤ 「成人の言語相談のしおり」
- ⑥ 「成人視覚相談のしおり（見えにくい、見えないことでお困りの方へ）」
- ⑦ 「高次脳機能障害」（区作成のもの）
- ⑧ 「失語症の理解とケア」
- ⑨ 「自立訓練（機能訓練：すずらん、生活訓練：なのはな）のご案内」
- ⑩ 「シーティング」
- ⑪ 「住宅改造相談のご案内」

(2) PR

- ① 区のおしらせ「せたがや」
催しのあるたびに案内を掲載した。
- ② ホームページ（平成14年8月1日開設 平成23年3月リニューアル）
事業の概要、イベント、区民や支援者向けの研修・講演会等の予定を掲載している。

(3) 刊行物

- ① 「平成26年版事業概要（平成26年8月）」
- ② 世田谷区自立支援協議会活動報告書
- ③ 世田谷区自立支援協議会だより

2. 障害者雇用への協力

障害者の自立及び社会参加を促進するため、施設の受付案内業務、日常清掃業務及び休憩コーナーの喫茶業務について、働く場となるよう協力している。

3. 特別支援教育への協力

(1) 就学相談説明会について

年長児の保護者を対象に就学相談説明会を実施した。

実施日：平成 26 年 5 月 30 日（金） 10：00～11：30

場所：総合福祉センター 3 階研修室

参加人数：52 名

(2) 就学支援シートについて

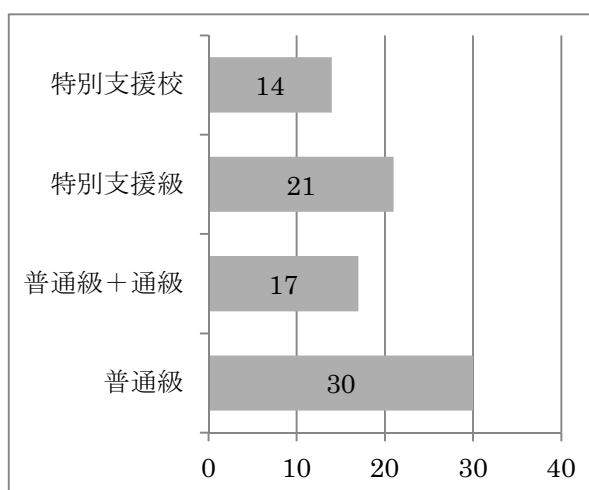
① 経過

教育委員会では特別支援教育の取り組みの一つとして、平成 18 年度より小学校へ就学する児童に対し、「就学支援シート」の活用を開始した。就学先に、子どもの様子や支援の内容を引き継ぐとともに、就学後に必要と思われる配慮や支援等について、保護者、就学前機関、就学先が共に考えていくことを目的としている。センターでは、教育委員会からの依頼を受け、就学支援シートの作成を行っている。

② 就学支援シート作成数

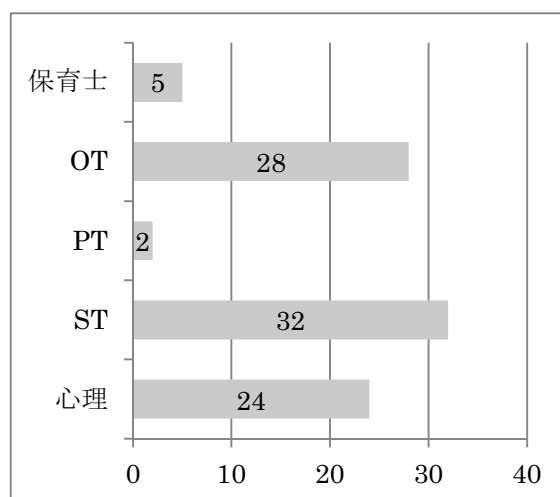
平成 27 年 3 月末時点（改善、転出等終了児童を除く）で利用中の年長児童 127 名のうち 82 名について作成した。

③ 就学先別就学支援シート利用者数



※就学先は保護者からの申し出による。

④ 専門職別就学支援シート作成数



※複数の職種からシートを受け取る場合があるため、実人数とは異なる。

4. 保健センターとの連携

総合福祉センターおよび保健センターの専門職員を相互に活用し、両事業所の利用者サービス向上を図った。

(1) 総合福祉センターより保健センター事業へ専門職員を派遣

保健センター事業名	主 な 内 容
運動器の機能向上プログラム	言語聴覚士：介護予防の視点から口腔ケアの関心を高める
70歳からの体にやさしい教室	言語聴覚士：口腔機能を高めるための講話及び実技指導 理学療法士：膝・腰痛がある方の上手な身体の動かし方

(2) 保健センターの専門職員による指導や測定

総合福祉センター事業名	主 な 内 容
①グループ訓練「なのはな」 (知的障害者)	運動指導員：運動指導、マシントレーニング、体成分測定 栄養士：栄養指導、食事バランスチェック、食事指導 医事係：作業発注、納品チェック
②グループ訓練「すずらん」 (身体障害者)	栄養士：栄養指導、食事バランスチェック、食事指導
③グループ訓練「幸次苑」 (高次脳機能障害者)	栄養士：栄養指導、食事指導 運動指導員：体成分測定
④聴覚障害者体操サークル	運動指導員：運動指導
⑤障害者のためのゆったり体操	運動指導員：運動指導

(3) 専門職員の相互派遣のほか、保健センターとの事業協力

事 業 名	主 な 内 容
①総合福祉センター『さくらまつり』	栄養士：栄養指導、食事バランスチェック 運動指導員：体成分測定
②保健センターまつり	障害者施設の出店調整